目玉企画!

京都議定書20周年・京大120周年記念企画

持活（じかつ）プロジェクト

京大に来たばかりの皆さん、「持活（じかつ）」や「SDGs」をご存知ですか？これは昨年度、京都議定書採択20年、京大創立120年を機に始動したプロジェクトで、京大生が教員、企業・団体と協力しながら取り組んで来ました。その中で私たちは国連の発表したSDGs（Sustainable Development Goals）に注目し、まず勉強すると同時に、いかにこの国連の目標を個人や京都大学、そしてさらに大きなレベルのアクションに落とし込めるかを日々議論しています。時に停滞、時に過熱する議論の中で、あれやこれやと「珍」アイデアも噴出！？別リーフレット「環境早見表」に詳細がモリモリ入っているので、ぜひご覧ください！！興味のある方はぜひご連絡ください！！イベントも今後モリモリやるつもりなので、Facebookやサイトなどでご注目ください。

国際シンポでの発表

様々な方との交流も魅力

小学校とも連携

【新入生&被災地・途上国支援企画】チャリティーフリーマーケット

エコ～るど京大では、この春にも、不用品を集めてチャリティー販売し被災者支援を行います。新年度が始まる時期ですので、新入生には格安で購入してもらい、Win-win-winな関係（イメージ図参照）を目指したいと思います。

開催日時	平日10：00～17：00
場所	本部構内 工学部・物理系校舎 北館7階 ※下の鍵が閉まっている場合や迷われた場合は、075-753-5922にお電話ください。

販売予定

10～500円で、ブランド服や靴、家具、食器、本などを販売します。

※お支払は、お釣りが不要な場合は、募金箱にお入れください。両替が必要な方は、スタッフにお声かけください。

くすちゃん自習室

707号室では、新入生に限らず、どなたでも、自由にくつろいで行ってください。窓からは吉田山の麓の桜をお楽しみいただけます。時間によっては、留学生との交流もあります。お茶とお菓子もご自由に。

アクセス

ミーティング・フリーマーケット開催場所（吉田キャンパス本部構内）

５７番の建物です。西側の正面玄関を入ったら左側へ進み、エレベーターで７階に上って下さい。
奥（東）の７０９号室です。

エコ～るど京大

活動紹介＆2018年度メンバー募集

エコ～るど京大は、教職員と学生の有志が主体となり、誰もが参加できる企画を通じた環境意識の向上と「持続可能なキャンパス（サステイナブルキャンパス）」の実現を目指しています！

5-6月の「初夏の陣」をはじめとした数々のイベント展開で全員参加型で環境負荷低減を目指すだけでなく、ときに楽しく、ときに真面目に環境を考える場を設け、キャンパス規模から地球規模までの「持続可能性（サステイナビリティ）」について、手広く活動を繰り広げています。詳しくは、このリーフレットの中面の活動紹介をご覧ください！
所属や学年は問いません！一緒に運営してみませんか？不定期に行っているミーティングに見学しにきてください。
メールいただければミーティング場所への案内や詳細の説明などいたしますのでお気軽にご連絡ください！

「エコや環境問題に興味がある！ぜひ関わりたい！」
「様々な人と協力して企画を立ち上げたい！」
「サークル以外にも京大ならではのことをしたい！」
そんな新しい仲間を待っています！

京大のエコアイドル
くすちゃん

『エコ～るど京大 初夏の陣』として、5-6月に京大の各所で多種多様な企画をします。詳しくは中面を！
『初夏の陣』の立ち上げ会議は4月下旬を予定しています。例年多くの京大教員やサークルや企業・団体とのコラボを計画しています。興味のある方は、まずはお早めにご連絡をお願いします。

◆ 教職員窓口：浅利 美鈴（地球環境学堂・准教授）mezase530@gmail.com
◆ 学生代表：安藤 悠太（工学研究科・D1）ando.yuta.77c@st.kyoto-u.ac.jp
◆ 連絡窓口：English／Yu Zaizhi（工学部・4）yu.zaizhi.96@gmail.com
日本語／久保文乃（農学部・2）kubo.ayano.58m@st.kyoto-u.ac.jp

エコ～るど京大事務局：京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター（075-753-7700）

エコ〜るど京大 活動紹介

エコ〜るど京大Facebook
www.facebook.com/ecosengen

エコ〜るど京大Web
http://eco.kyoto-u.ac.jp/

初夏の陣2017

「環境月間」である毎年6月前後には「初夏の陣」と題して様々な企画を実施！ 2017年度にはルネ内で環境分野の研究者とWSなどを実施した「オープンラボ」、ネパール被災地支援のためのフリマ、啓発映画の上映会、エコ回向企画「ゆかた着付け教室」や持活プロジェクトなどなど盛りだくさん！今年はどんな企画が……?一緒につくってみませんか？素敵な出会いもたくさんあるかもしれません！

ペコロジー企画

ペコロジー（P-Ecology）企画は、一人ひとりにとって身近な行為でもある食から、サステイナブルな生活を考える企画です。毎年様々な方とコラボし、「美味しいエコ」を開催しています！例えば、世界食料農業機関（FAO）×京大院生のディナーショー、「でこべじカフェ」の料理教室「えこべジクッキング」、更には京都秦家主宰の秦めぐみさんの「出汁教室」などなど。自炊ビギナーのサステイナブルで健康的な自炊を応援します！

ブルーシーフード企画

海洋資源の保全につながる魚介類を積極的に食べようという、ブルーシーフード。その運動の一環として、エコ〜るど京大は、セイラーズフォーザシー日本支局、京大生協と協働し「総長ブルーシーフードカレー」を開発しました。現総長である山極壽一先生にアイデアから味までを監修いただいて完成したココナッツ風味のカレー。ギンダラ、ゴマサバ、ホタテが主役です。「食べて終わりではなく、考え学び行動するきっかけとなる」新メニューが誕生しました。

ぬか漬けチャレンジ

「1日1エコ／ぬか漬けチャレンジ」は、昔から家庭の知恵として受け継がれてきた漬物であり、毎日の手入れが必要なぬか漬けを、サステイナビリティの象徴として、さまざまな方に天地返しのリレーをしていただいています。エコ〜るど京大Facebookで2015年6月から継続的に動画をアップし、京大生から著名人の方までを含む、200名以上の方が参加くださいました！今後のぬか漬けバトンも乞うご期待！

エコ回向（えこう）企画

日々何気なくやっていることも、ちょっと見直してそれをじっくり楽しんでみると、回り回ってエコにつながる。そうしたものに気付いていただくことを目的に、日本文化に着目して、「美味しいお茶の淹れ方教室」と「浴衣の着付け教室」を開きました！「お茶の淹れ方教室」で教わった淹れ方のリーフ茶の美味しさを知れば、エコでないペットボトル茶で済ますことが物足りなく感じられますし、夏の暑さもクーラーで解決…ではなく優雅な浴衣を着て乗り切ればいいのでは？

Kistory

タンスに眠った着物を復活させる。この思いを元にこの企画はスタートしました。2017年度においては、全国からご寄贈いただいた50着以上の着物を若い人達の手に渡すことで、着物を復活させました。2018年度においても、さらにレベルアップした形で、着物を復活させる企画を考えていきます。こうご期待！

Campus Garden企画

2017年度始動の新企画！野菜や果物、ハーブ、エディブルフラワーのように、見るだけでなく食べても楽しめる植物で彩ったガーデンを総合研究5号館前に作ります！キャンパス内といった身近な所で、少し手間暇をかけて食べ物を育ててみる、努力の結晶の採れたての新鮮な食べ物を味わってみる、そんな地産地消を通して、今一度一緒に『食』と真に向き合ってみませんか？

100人会議

「京都大学の環境・サステイナビリティを考える100人会議」は、教職員や学生、その他の専門家やステークホルダー120人以上がメンバーとなり、さまざまな議論を繰り広げています。サステイナブルキャンパスの取組の概念や具体的な取組について、多くの意見を得ると同時に、広く認知をはかり、実効性あるものにすることを目指しています。東福寺で座禅と会議を催し、会議を受けて実際にスタートしたプロジェクトもあります。

大学生・院生、教職員や学外の様々な方とわいわいがやがや話し合いながら、活動しています！

出会いも！

エコ〜るど京大の何よりの特長は、人との出会い。環境問題は非常に幅広い分野と関連しているため、多くの人たちとの交流が生じます。自分の知らなかったところで活躍をされている方がたくさんいることを実感します。人と出会って、一緒に何かを成し遂げる。サステイナブルな社会の実現には不可欠なプロセスだと思っています。写真は京大118周年記念（2015年6月）で撮影したものです。桂の竹と廃油から作ったエコキャンドルを使用しました。2018年度もさまざまな方とのコラボができることを願います！

海外シンポへも！

Think Globally を掲げるエコ〜るど京大は、海外での環境関連シンポジウムにも積極的に参加しています。例えば、ハワイで開催された日米国際海洋環境シンポジウム、ワシントンD.C.で開催された国際海洋環境サミットに代表者が参加しました。国際的な舞台で日本の環境政策を紹介したり、世界中の学生と最新の研究を学んだり…グローバルな視野で環境問題の解決に挑戦します。

研修ツアーも！

キャンパス内だけじゃ物足りない！そういうことで、日本各地へ飛び出しちゃいました。例えば、熊本市と水俣市を訪問、震災復興と「環境モデル都市」の取り組みを見学しました。他にも、広島県福山市の株式会社エフピコで食品トレーリサイクルの最前線を、佐賀県唐津市では自然電力株式会社の風力発電事業を見学しました。目と体でエコの最前線を体験して行きます！